



▼子牛価格(三次市場)

(単位:円・頭・kg・%)

種類	入場頭数	成立頭数	取引率	最高価格	最低価格	平均価格	体重
スモール	雌	20	18	90.0%	107,100	1,050	25,988
	雄	288	271	94.1%	59,850	1,050	31,963
計	308	289	93.8%	107,100	1,050	31,575	58
F1	雌	214	181	84.6%	136,500	6,300	74,285
	雄	238	212	89.1%	170,100	24,150	119,007
計	452	393	86.9%	170,100	6,300	97,834	55
ホルス(5才)雌	49	45	91.8%	242,550	26,250	120,236	696

▼搾乳素牛価格(北海道)

(単位:円・頭)

市場	開催日	出場頭数	成立頭数	成立率	最高価格	最低価格	平均価格
南北海道	3日	77	60	77.9%	582,750	352,800	421,190
根室	20日	461	369	80.0%	729,750	320,250	493,896
釧路	21日	216	128	59.3%	569,100	412,650	488,119
十勝	22日	862	539	62.5%	708,750	239,400	490,280
北見	23日	436	287	65.8%	577,500	329,700	470,309
豊富	24日	290	182	62.8%	584,850	368,550	478,125
合計		2,342	1,565	66.8%	729,150	239,400	473,653

業務報告 (8月分)

- 1日 DMSシステム操作運用集中講座(2日間)
- 2日 酪農指導事業企画調整会議
- 3日 広島県農業会議総会
- 4日 抗生物質検査指導巡回(2日間)
- 5日 Jミルク講演会
- 6日 全酪連北海道府県畜産主任者会議(2日間)
- 7日 ホルスタイン登録協会研修会
- 8日 上下町酪役員会
- 9日 西部酪酪会
- 10日 酪政連地元選出国会議員T P P反対要請
- 11日 甲奴酪酪女性部役員会
- 12日 酪農生産研究会米国視察説明会
- 13日 飼料設計研修会
- 14日 賀茂地域酪農団体連絡協議会役員会
- 15日 佐伯地区酪農団体連絡協議会役員会
- 16日 西部DMS説明会
- 17日 酪酪活性化推進委員・酪酪任意組織団体代表者合同会議
- 18日 第5回理事会
- 19日 山陽酪酪(株)経営検討会
- 20日 中販連理事会・受託販売委員会
- 21日 ヘルパー調整会議
- 22日 学乳協議会
- 23日 生産基盤強化対策委員会
- 24日 ヨーネ病・白血病検査協議
- 25日 あきたかた酪酪振興会納涼会
- 26日 中四国JAトップセミナー
- 27日 JA広島県大会議案検討プロジェクト会議
- 28日 山陽酪酪(株)取締役会
- 29日 中販連委員実務責任者会議
- 30日 元気な広島県酪酪戦略会議幹事会
- 31日 畜産振興協議会幹事会
- 1日 西部地域組合員連絡協議会交流会
- 2日 堆肥センター協議会総会・研修会
- 3日 広酪飼料利用推進委員会
- 4日 三原地区共進会巡回審査
- 5日 JA広島県大会議案検討
- 6日 JA全国専門畜産経営診断士養成研修(5日間)
- 7日 庄原農協畜産共進会
- 8日 山陽酪酪(株)酪酪乳業懇話会
- 9日 上下町共進会巡回審査
- 10日 全酪連管外視察研修(3日間)
- 11日 三次市酪酪振興会役員会
- 12日 三次市酪酪振興会役員会
- 13日 生乳安全安心確保委員会担当者会議(2日間)
- 14日 西部地域組合員連絡協議会役員会
- 15日 グリーンウインズさとやま取締役会

編集後記



▼今月号は、「生乳生産基盤の維持・向上を考える」、「未来を見据えて」などの記事で構成した。

▼生乳生産基盤の脆弱化の歯止めを如何にするのが課題であるが、一番は酪農家の所得率向上を如何に行うかがキーポイントと考える。

▼「生乳生産基盤の維持・向上を考える」を一読戴いた方から、広酪への提案を寄せて戴きたい。

▼平成二十三年度の乳用牛の死廃状況を見ると、運動機能障害による頭数が多い。

▼平成二十四年度第一四半期の死廃頭数は百七十九頭(前年同期百五十四頭)、運動機能障害の発生頭数は五十四頭(前年同期四十八頭)と今年度の増加が見られる。

▼これら発生は、自ずと酪酪経営に影響を与えているに違いない。

▼広酪では、3M事業24(乳用初妊牛取得)にあたり、系統上部団体に対して、牛白血病等の発症リスク防止のための対応を求めた。

▼同疾病は、年々、発症率が高まっており、酪農家の被る経済的リス

## 市町別生乳受託量の進捗状況(8月)

(単位:トン)

市町名	生乳生産量	生産占有率	前年比(同月)	24年度累計	前年比(累計)
庄原市	915.2	20.5%	92.4%	4,862.8	97.8%
三次市	847.5	19.0%	92.6%	4,386.6	93.3%
北広島町	519.4	11.7%	98.5%	2,622.1	97.6%
世羅町	503.8	11.3%	106.0%	2,548.7	106.2%
安芸高田市	400.4	9.0%	92.9%	2,107.0	95.3%
東広島市	370.8	8.3%	95.9%	1,892.1	94.3%
府中市	259.3	5.8%	98.7%	1,383.9	99.2%
広島市	185.0	4.2%	91.8%	1,012.9	100.5%
福山市	123.6	2.8%	99.5%	684.5	101.0%
三原市	120.0	2.7%	108.3%	577.5	100.6%
神石高原町	86.8	1.9%	78.6%	481.2	77.1%
廿日市市	66.8	1.5%	95.2%	351.4	94.0%
呉市	56.7	1.3%	102.9%	259.1	90.8%
合計	4,455.3	100.0%	95.6%	23,169.7	96.9%

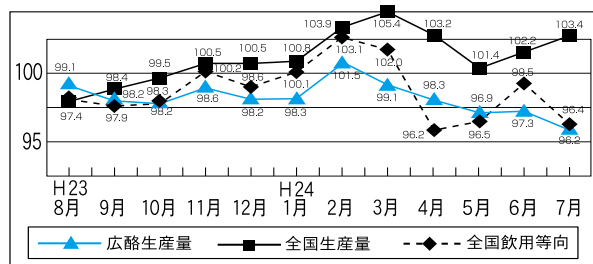
## 生乳受託実績(8月)

地域区分	備北	南部	西部	東部	合計
生乳出荷組合員戸数(戸)	46	13	55	49	163
生乳出荷量(トン)	1,566.9	427.5	1,171.6	1,289.3	4,455.3
前年同月対比(%)	93.9%	96.8%	95.3%	97.6%	95.6%
前月対比(%)	95.6%	100.4%	98.9%	98.1%	97.6%
生乳出荷累計(トン)	8,254.8	2,151.2	6,093.4	6,670.4	23,169.7
広酪構成比(%)	35.6%	9.3%	26.3%	28.8%	100.0%

## 市町別の生乳出荷組合員による購買品利用高の状況(7月)

No	市町名	購買品利用高(千円)	生乳出荷量(トン)	購買品利用占有率	生乳1kg当たりの購買品利用高(円)
1	庄原市	41,308	962.4	26.40%	42.9
2	三次市	39,138	916.8	25.00%	42.7
3	北広島町	17,321	516.4	11.10%	33.5
4	安芸高田市	16,443	408	10.50%	40.3
5	府中市	14,563	270.1	9.30%	53.9
6	東広島市	5,703	370.8	3.60%	15.4
7	世羅町	5,518	506.2	3.50%	10.9
8	福山市	5,486	127	3.50%	43.2
9	三原市	3,411	77	2.20%	44.3
10	廿日市市	2,649	68.7	1.70%	38.6
11	広島市	2,434	192	1.60%	12.7
12	神石高原町	2,397	93.7	1.50%	25.6
13	呉市	193	54.8	0.10%	3.5
合計		156,561	4,563.9	100.00%	29.2

## 生乳需給の前年比推移(7月) (単位:%)



- ▼ 先の通常総会においても、牛白血病の検査において、広酪所有牛が着後検査で抗体陽性牛判定と下った場合の損害賠償は？とする指摘を受けた。
- ▼ この問題は、広島県にとどまらず全国の酪農経営に影響が及ぶものと考えられる。
- ▼ 将来に亘る酪農業の姿を考えると、この問題は放置したい課題であり、広酪ではこの解決のための提案を開始している。
- ▼ 話題を変えて、組合員から乳価交渉の状況が伝わらない。どうなっているのか。中国生乳販連は、常に乳価交渉にポイントを置いた行動を示すべきであった。
- ▼ 早速、中国生乳販連に対してこの意向を伝えた。
- ▼ この他、広酪には、酪農ヘルパー事業の課題解決策の決定と実行などの意見が組合員から寄せられている。
- ▼ 様々な指摘・意見は、期待の表れと感じている。前向きに対応して行きたい。